

サブローブイオン

Sabouraud liquid broth

酵母・カビの検出

用途

サブローブイオンは、酵母やカビの培養またはサブカルチャーに用いられます(1)。

本培地は、USPによって医薬品の抗菌(抗真菌)活性試験に推奨されています(2)。

原理

サブローブイオンは、酵母やカビの成長を促すペプトンを含んでいます。

キット構成

	調製済み培地	
REF 42108	試験管培地	20本(9 mL)

組成(g/L)

理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります:

カゼインペプトン(ウシ).....	5 g
肉ペプトン(ウシまたはブタ).....	5 g
ブドウ糖.....	20 g
精製水.....	1 L

pH5.7

必要な器材

- ふらん器

使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者をご使用下さい。
- 本製品は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、培養物および検体を接種した製品は感染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。被検菌の無菌操作および通常操作の留意事項は以下のガイドラインをご参照下さい。安全ガイドライン: CLSI/NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infections: Approved Guideline – Current Revision» 操作留意事項: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories, CDC/NIH – Latest Edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 使用期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションを示す場合は、使用しないで下さい。
- 最初にご使用になる前に、試験管キャップの開封防止シールに破損がないことをご確認下さい。
- 本培地は取扱説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- 培地中に死菌が存在することもあります。培地の性能に影響はありません。

保管方法

試験管培地 2-25°Cで使用期限まで保管できます。

検体

本品は、菌株のサブカルチャー、あるいは菌液の作製に用いられます。

使用法

臨床使用:

- 菌株を培地に直接接種します。
- 25°Cで培養します。用途に応じて最新の標準法を参照し、適切な温度で培養して下さい。微生物の種類により培養時間は異なります。培養は、48時間から7日まで行われます。

産業用:

USPに従った抗真菌活性の決定:

サブローブイオンは *C. albicans* および *A. niger* の接種菌液の調製に用いられます。

判定

- 接種後、液体培地の濁度により、微生物の成長を観察します。
- 抗真菌活性の決定: USPの推奨事項に従って下さい。

品質管理

プロトコール:

本培地は、下記の標準菌株を用いて試験を行います。

• <i>Candida albicans</i>	ATCC® 10231
• <i>Aspergillus niger</i>	ATCC® 16404

使用菌株	20-25°Cでの試験結果
<i>Candida albicans</i> ATCC® 10231	3日以内に発育
<i>Aspergillus niger</i> ATCC® 16404	

注意:

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

留意事項

発育の度合いは微生物各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な要求性(基質、温度、大気環境等)をもつある種の株においては発育しないことがあります。

性能

性能は、25°C下で9株の酵母と6株のカビを含む15株を用いて評価されました。

結果

試験に用いられた9株の酵母のうち7株は、≒48時間以内に発育し、他の2株の酵母は、7日以内に発育しました。6株のカビは、全て7日以内に発育しました。

廃棄処理

未使用の試薬は、有害化学物質廃棄物の処理手順に従って処分してください。

使用済み試薬および他の汚染廃棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い方法に従って行ってください。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄してください。

参考文献

1. LARONE D.H. – *Medically important fungi. A guide to identification* – 3rd Ed. – ASM Press, 1995.
2. USP 34.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n>回分の試験を含む

(問い合わせ先)

製品関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

*本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.biomerieux-jp.net/>

ビオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー 2 階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>

 **bioMérieux SA**

376 Chemin de l'Orme
69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>



BIOMÉRIEUX